



ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前 9:00~午後 5:30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 619 M01 1ZN

1 619 M01 1ZN (2023.01)

EasySpray 18V-100



取扱説明書

このたびは、弊社コードレススプレーガンをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目次

●安全規則.....	2
警告表示の区分	2
一般的な電動機械の安全に関する警告	2
記号について	6
●安全上のご注意.....	8
コードレス電動機械全般についての注意事項	8
スプレーガンについての注意事項	15
●本製品について	17
用 途.....	17
各部の名称.....	18
標準付属品.....	19
仕 様.....	20
●使い方	21
バッテリーを準備する	21
作業前の準備をする.....	24
作業する	30
●バッテリーを長持ちさせるために.....	37
●リサイクルのために	37
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	37
●お手入れと保管	38
クリーニング	38
保 管.....	45
電動機械(本体)の廃棄について	45
塗料の廃棄について	45
●困ったときは.....	46
故障かな?と思ったら.....	46
修理を依頼するときは.....	49

安
全

つ本
製
品
に

使
い
方

つバ
ッテ
リ
ー
に

保
お
手
入
れ
と
管

困
っ
た
と
き
は

安全規則

安

全

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

一般的な電動機械の安全に関する警告



警 告

電動機械とともに提供される全ての安全上の警告、指示、図解および仕様をお読みください。

次に示す全ての指示に従わない場合には、感電、火災および重傷を負う恐れがあります。

必要に応じて読むことができるように、全ての警告および指示を後日のために保管してください。

次に示す全ての警告における“電動機械”という用語は、電源式（コード付き）電動機械または、電池式（コードレス）電動機械を示す。

a) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分に明るくしてください。散らかった暗い場所で作業すると事故の原因となります。
- 2) 爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動機械を使用しないでください。電動機械から発生する火花は、粉じんまたは蒸気（ヒューム）を発火させることがあります。
- 3) 電動機械の使用中は、子供および第三者を近付けないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。

b) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－電気的安全性

- 1) 電動機械の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。また、電源プラグを改造しないでください。アダプタープラグを接地した電動機械と一緒に使用しないでください。改造していない電源プラグおよびそれに対応する電源コンセントを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地されたものと、身体を接触させないでください。
身体が接地されたものと接触した場合、感電する恐れがあります。
- 3) 電動機械を雨または湿気のある状態にさらさないでください。電動機械に水が入ると、感電する恐れがあります。
- 4) コードを乱暴に扱わないでください。コードを引っ張って電動機械を引き寄せたり、または電源プラグを抜くためにコードを引っ張らないでください。コードを熱、油、鋭利な角または動いているものに接触させないでください。コードが損傷したり絡まったりすると、感電する恐れがあります。
- 5) 電動機械を戸外で用いる場合は、戸外の使用に適した延長コードを使用してください。戸外の使用に適したコードを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 6) 電動機械を湿った場所で用いることが避けられない場合、漏電遮断器（RCD）によって保護された電源を使用してください。漏電遮断器（RCD）を使用することで、感電のリスクは低減されます。

c) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－人的安全性

- 1) 電動機械の使用中は、油断をせず、現在、自分が何をしているかに注意してください。電動機械の使用中は、自らの動作に対する作業安全を常に考慮してください。疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動機械を使用しないでください。電動機械の使用中の一瞬の不注意で、深刻な人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 2) 安全保護具を使用してください。常に、保護めがねを装着してください。防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に用いることで、傷害事故を低減することができます。

- 3) 意図しない始動を避けるため、スイッチに指をかけて電動機械を運ばないでください。電源プラグを差し込む前に、スイッチが“切”の位置にあることを確認してください。スイッチに指をかけて電動機械を運んだり、スイッチが“入”の位置になった電動機械の電源プラグを差し込むと、意図せず始動し事故の原因となる恐れがあります。
- 4) 電動機械の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチを外してください。電動機械の回転部分に調整キーまたはレンチを付けたままにしておくと、人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 5) 無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場およびバランスを維持してください。これによって、予期しない状況でも電動機械を適切に操作することができます。
- 6) だぶだぶの(余裕のある)衣服または装飾品は身に付けず、きちんとした服装で作業してください。髪、服および手袋を回転部分に近付けないでください。だぶだぶ(余裕のある)の衣類、装飾品または長髪で作業をすると、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用してください。これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。
- 8) 電動機械を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。不注意な行動は、重大な傷害を引き起こす恐れがあります。

d) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－バッテリー電動機械の使用および手入れ

- 1) 弊社が指定する充電器およびバッテリーの組み合わせ以外では充電しないでください。
指定する充電器およびバッテリーの組み合わせ以外で充電すると、火災を発生する恐れがあります。
- 2) 電動機械は、指定するバッテリー以外は、使用しないでください。指定していないバッテリーを使用すると、人的被害および火災のリスクを生じる恐れがあります。
- 3) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなどの金属物、または端子間を短絡する恐れがあるその他の小さな金属物と分けて保管してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災を生じる恐れがあります。
- 4) 過度な条件の下では、バッテリーから液体が漏えいすることがあります。バッテリーから漏えいした液体への接触は避けてください。漏えいした液体に接触した場合は、水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。バッテリーから漏えいした液体は、炎症またはやけどの原因となる恐れがあります。
- 5) 破損または改造したバッテリーや電動機械を使用しないでください。使用すると、火災や爆発、若しくはけが、予期しない動作を生じる恐れがあります。

- 6) 火または高温にバッテリーや電動機械をさらさないでください。火または130℃以上の温度にさらすと爆発する恐れがあります。
- 7) 取扱説明書の指示に従って充電してください。取扱説明書で指定する温度範囲外では、バッテリーまたは電動機械を充電しないでください。不適切または指定範囲外の温度で充電すると、バッテリーが損傷し、火災の危険が増大します。

e) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－修理

- 1) 電動機械の修理は、資格を有する修理要員に純正交換部品だけを用いて修理するよう依頼してください。これによって、電動機械の安全性が維持できます。
- 2) 損傷したバッテリーは、修理しないでください。損傷したバッテリーの修理は、弊社または認定整備業者に依頼してください。

記号について

本機には下記の記号が表示されています。

記号の意味を十分理解して本機を使用してください。

安

全

	直流
	作業中は保護めがねを着用してください
	作業中は保護手袋を着用してください
	作業中は保護マスクを着用してください
	ユーラシア経済連合の基準適合表示
	ウクライナの基準適合表示
	欧州の基準適合表示
	欧州で使用するWEEE指令の適合表示
	英国の基準適合表示
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください

	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください
	リサイクル識別表示マーク (リチウムイオンバッテリー)
	リサイクル識別表示マーク (紙製容器包装)
	リサイクル識別表示マーク (プラスチック製容器包装)

安全上のご注意

安全

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

コードレス電動機械全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動機械全般の『安全上のご注意』について説明します。

危険

- **ボッシュ専用の充電式バッテリー以外を使用しないでください。**
 - ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
 - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
電動機械本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
- **バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。**
- **バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。**
 - ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
- **バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。**
 - ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- **コードレス電動機械本体やバッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管・放置しないでください。**
 - ◆ 発熱・発火・破裂・バッテリーの液漏れの恐れがあります。

● 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。
バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

● バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

- ◆ 短絡の恐れがあります。

● バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。

また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。

- ◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。



警 告

● 正しく充電してください。

- ◆ バッテリーは、取扱説明書の指示に従って充電してください。
- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 仕様に記載されている推奨充電周囲温度範囲外で、バッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損したり、火災が発生したりする恐れがあります。

● 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

● 感電に注意してください。

- ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。

● 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス電動機械を使用できます。

- 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 充電式でないバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。
- 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
 - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。騒音にさらされると、難聴の原因となります。
- 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- 電動機械にバッテリーを挿入する前に、スイッチが“切”になっていることを確認してください。スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

- **電動機械を、無理に使用しないでください。目的に合った電動機械を使用してください。より適切、安全に作業ができます。**
 - ◆ 安全に能率よく作業するために、電動機械の能力に合った速さで作業してください。
 - ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
 - ◆ 小型の電動機械やアタッチメントは、大型の電動機械で行う作業には使用しないでください。
 - ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

- **電動機械、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動機械に合うように使用してください。**

電動機械を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。

 - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。

- **スイッチで始動、および停止操作のできない電動機械は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動機械は危険です。修理を依頼してください。**

- **調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動機械本体からバッテリーを取り外してください。**

このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。

- **先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動機械本体の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。**
 - ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動機械本体の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。

- **作業中にコードレス電動機械本体の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。**
 - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、コードレス電動機械本体や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
 - ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
 - ーできる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
 - ー作業場所の換気に注意してください。
 - ーDS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。
 - 作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。
- フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、コードレス電動機械本体が冷めるための時間を設けてください。
 - ◆ 複数個による連続作業は、コードレス電動機械本体に支障をきたすばかりでなく、コードレス電動機械本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。
- 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者診断を受けてください。
 - ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
 - ◆ 容易に発火する恐れがあります。
- 定期的にコードレス電動機械の通気口を清掃してください。
 - ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
 - ◆ 握り部が滑りやすいと、コードレス電動機械本体を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。

- 電動機械を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動機械の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動機械を扱いなれていない人に渡すと、危険です。

- ◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
- ◆ 鍵のかかる所に保管してください。

- 電動機械の保守を行ってください。電動機械の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各部品の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。

多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。

- コードレス電動機械の修理は、専門店に依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の人は電動機械、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 電動機械が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ 損傷したり、改造した電動機械やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動機械をコントロールできなくなります。
- ◆ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した電動機械の保守・点検・修理は受け付けできません。

- この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で使用しないでください。

- ◆ この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しないでください。

- ◆ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。

● 安全上のご注意は、必ず守ってください。

- ◆ コードレス電動機械の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。コードレス電動機械操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

● 搬送について

内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。

第三者が運搬する場合（例えば空輸あるいは代理店経由）、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取り扱いの専門家に相談してください。



注 意

● 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

- ◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。

● 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。

- ◆ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

● 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。

● 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

スプレーガンについての注意事項

コードレス電動機械全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。ここでは、スプレーガンをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

安
全



警 告

- **作業領域を清潔で明るい場所に保ち、塗料や溶剤の容器、雑巾、その他の可燃物を置かないでください。**
 - ◆ 自然発火の恐れがあります。
 - ◆ 機能する消火器または消火設備を常に準備しておいてください。
- **作業領域が十分に換気され、作業領域全体に十分な新鮮な空気が循環していることを確認してください。**
 - ◆ 可燃性溶剤を蒸発させると、爆発性雰囲気が発生します。
- **引火点が55℃未満の塗料をスプレーしたり、洗浄に使用したりしないでください。**
 - ◆ 水性塗料、低揮発性炭化水素、または類似の塗料を使用してください。揮発性の高い溶剤は、爆発性雰囲気を作り出します。
- **危険かどうかははっきりしない材料には、スプレーしないでください。**
 - ◆ 未知の物質が危険な状態を引き起こす可能性があります。
- **沸騰したお湯をスプレーしないでください。**
 - ◆ 化学添加物を含まないぬるま湯（最高55℃）のみをスプレーしてください。
- **静電気の火花、直火、パイロットランプ、高温の物体、モーター、たばこ、電気ケーブルの接続と切断、またはスイッチの操作によって発生する火花などの発火源の近くでスプレーしないでください。**
 - ◆ このような火花の発生源は、周囲で火災を引き起こす可能性があります。

- 化学薬品をスプレーしたり取り扱うときは、適切な保護手袋、保護マスクまたは呼吸マスクなどの保護具を着用してください。
 - ◆ 状況に適した保護具を着用することで、有害物質への曝露を減らすことができます。
- スプレーする塗料や溶剤によって引き起こされる可能性のあるリスクに注意してください。
保護具の使用に関する指示を含む、塗料や溶剤に関する容器のマークまたはメーカーの情報を確認してください。
 - ◆ 有毒物、発がん性物質などによる火災や怪我のリスクを軽減するために、必ず、メーカーの指示に従ってください。
- バッテリーの接点とスプレーガンの「メインスイッチ」に塗料やその他の液体がかからないようにしてください。
 - ◆ 塗料や液体が掛かると、感電の原因となります。
- スプレーガンの人や動物に向けないでください。

本製品について

用 途

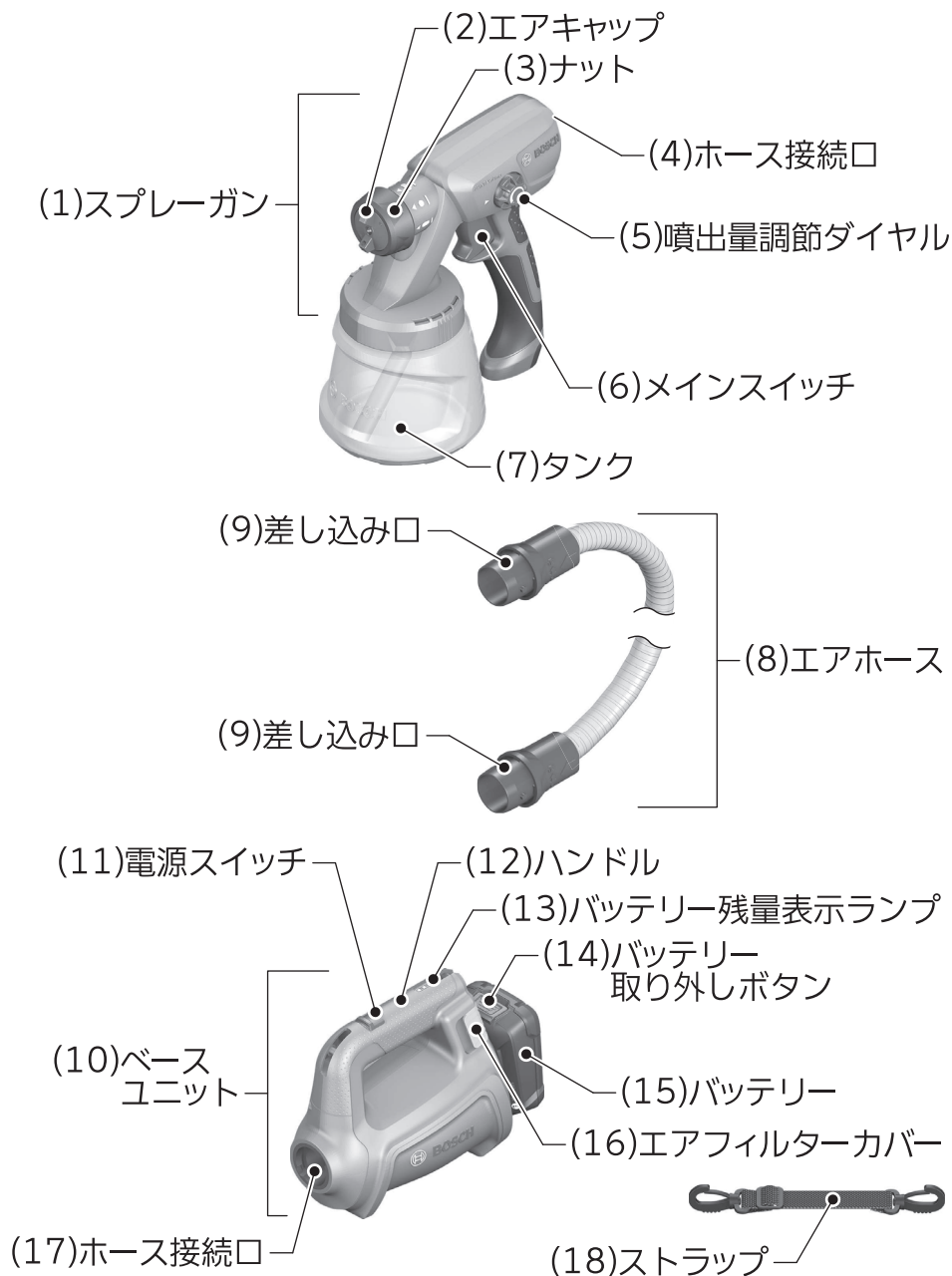
◆ 水性 (推奨) および油性の木材保護塗料、仕上げ塗料、下塗り塗料の噴霧

- ☞ 本製品は、乳剤やラテックス塗料 (壁用塗料)、苛性溶液、木材着色剤、酸性塗料、消毒剤、殺虫剤、およびファサード塗装での使用には適していません。
- ☞ 本製品はご家庭での使用を想定した「DIY用」製品です。

本
製
品
に
つ
い
て

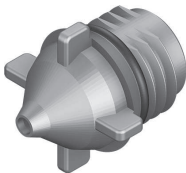
各部の名称

本
製
品
に
つ
い
て



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

標準付属品

モデル名	EasySpray 18V-100
型 番	ESPRAY 118 H
 ノズルキャップ (グレー) (本体装着済)	1個
 ノズルキャップ洗浄ブラシ	1本
 タンク*1*2 (本体装着済)	1個

本
製
品
に
つ
き
ま
す

- *1 タンクは別売アクセサリーとしてお買い求めいただけます。
(品番:1 600 A00 8WH)
 - *2 標準付属品のタンクにはふたが付属されておりません。
- ◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

電動機械本体

本
製
品
に

モデル名	EasySpray 18V-100
型 番	ESPRAY 118 H
定格電圧	D.C.18V
噴霧能力 水性塗料使用時 油性塗料使用時	700ml/分 100ml/分
2m ² の塗装所要時間	2分
タンク容量	800ml
ホースの長さ	1.25m
質 量*3*4	2.1～3.1kg
推奨充電周囲温度範囲	0℃～+35℃
使用可能周囲温度範囲*5	-20℃～+50℃
保管可能周囲温度範囲	-20℃～+50℃
原産国	ハンガリー

*3 使用するバッテリーの容量により異なります。

*4 EPTAプロシージャー01/2014に準拠

*5 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

使用可能ボッシュ充電器

品 番	AL 18....*6
-----	-------------

使用可能ボッシュDIY・ガーデンツール用リチウムイオンバッテリー

品 番	A 18..LIG*6 PBA. 18 PBA 18V....
-----	---------------------------------------

*6 ボッシュDIY・ガーデンツール用に限る

🔋 本製品には、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。
使用可能なバッテリー・充電器の品番は、ボッシュ電動工具ホームページ「ホーム＆ガーデン」を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。
(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)
ボッシュ電動工具ホームページ：<https://www.bosch.co.jp/pt/>

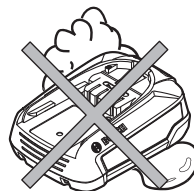
使い方

バッテリーを準備する

- ☞ 本製品には、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。
使用可能なバッテリー・充電器の品番は、ボッシュ電動工具ホームページ「ホーム&ガーデン」を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。
(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)
ボッシュ電動工具ホームページ: <https://www.bosch.co.jp/pt/>

● バッテリー(別売品)を点検する

- バッテリーは弊社指定のものか?
- バッテリーから液漏れが発生していないか?
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか?
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか?

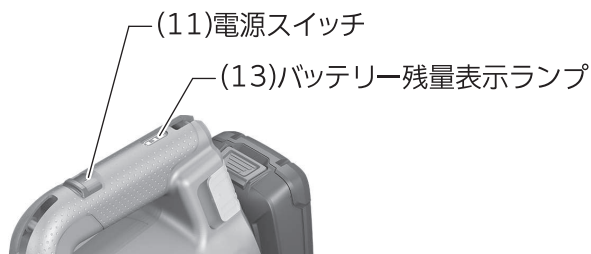


使
い
方

● バッテリー(別売品)を充電する

充電については、充電器に付属されている取扱説明書をお読みにになり、正しく充電してください。

● バッテリー残量表示



バッテリー(15)の残量(目安)は、ベースユニット(10)のバッテリー残量表示ランプ(13)で確認することができます。

バッテリー(15)が取り付けられているとき、「電源スイッチ(11)」を“入”にすると、バッテリー残量表示ランプ(13)が数秒間点灯・点滅します。

使
い
方

バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色3つ点灯	75～100%
緑色2つ点灯	40～75%
緑色1つ点灯	15～40%
緑色1つ点滅	0～15%

- ☞ 「電源スイッチ(11)」を“入”にしても、バッテリー残量表示ランプ(13)が1つも点灯・点滅しないときは、バッテリー(15)が破損しています。
バッテリー(15)を交換してください。
- ☞ バッテリー残量表示ランプ(13)が緑色3つで早く点滅しているときは、バッテリー(15)の温度が許容作動範囲(−20℃～+50℃)を超えているか、過負荷保護機能が作動しています。

● バッテリー(別売品)を取り付ける・取り外す



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー(15)を取り付けたり取り外したりするときは、「電源スイッチ(11)」が“切”になっていることを確認してください。



注意

- ◆ バッテリー(15)を取り付けたり取り外したりするときは、必要以上の力を加えないでください。

取り付け

バッテリー(15)を、ベースユニット(10)のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまで押し込みます。



注意

- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

取り外し



注意

- ◆ バッテリー(15)を引き抜く際、けがをしないよう注意してください。

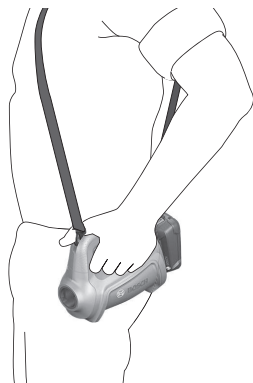
「バッテリー取り外しボタン(14)」を押しながら、バッテリー(15)をベースユニット(10)から引き抜きます。

作業前の準備をする

● ストラップを取り付ける・取り外す

ストラップ(18)を使用してベースユニット(10)を肩などに掛けることができます。

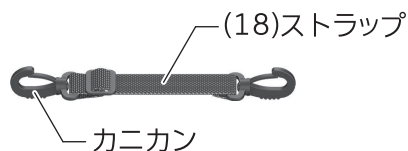
使
い
方



警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、ストラップ(18)を取り付けたり取り外したりするときは、必ずベースユニット(10)からバッテリー(15)を取り外してください。

ストラップ(18)のカニカンをストラップ取り付け部に引っかけて取り付けます。

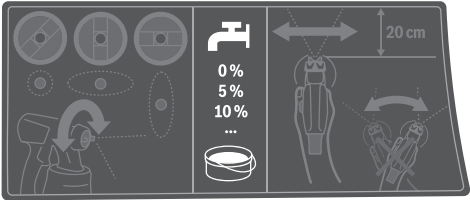


ストラップ取り付け部

ストラップ取り付け部



● スプレーする塗料を準備する



1. 必要に応じて、塗料を希釈します。



注意

- ◆ 希釈するときは、スプレーする塗料と希釈剤が適合していることを確認してください。間違った希釈剤を使用すると、スプレーガンの目詰まりにつながる塊が発生する可能性があります。
- ◆ 塗料の説明に記載されている希釈倍率を守ってください。

使
い
方

塗料の種類	推奨希釈率
木材防腐剤、薄塗り用ニス	0%
防錆用下塗り材	0～5%
水性（推奨）および油性の木材保護塗料、仕上げ塗料、下塗り塗料	5%以上

2. 塗料をよくかき混ぜます。

☞ テストスプレーで良好なスプレーパターンが得られない場合は、最適なスプレーパターンが得られるまで5%ずつ希釈してください。

希釈表

塗料の量	希釈剤の量		
	5%	10%	15%
300ml	15ml	30ml	45ml
400ml	20ml	40ml	60ml
500ml	25ml	50ml	75ml
600ml	30ml	60ml	90ml

● タンクにスプレーする塗料を充てんする

- ☞ タンク(7)に塗料を充てんするときは、必ずエアホース(8)を取り外してください。
- ☞ 塗料を充てんするときは、常にタンク(7)を平らな面に立てて置いてください。横になっていると、塗料が漏れる可能性があります。

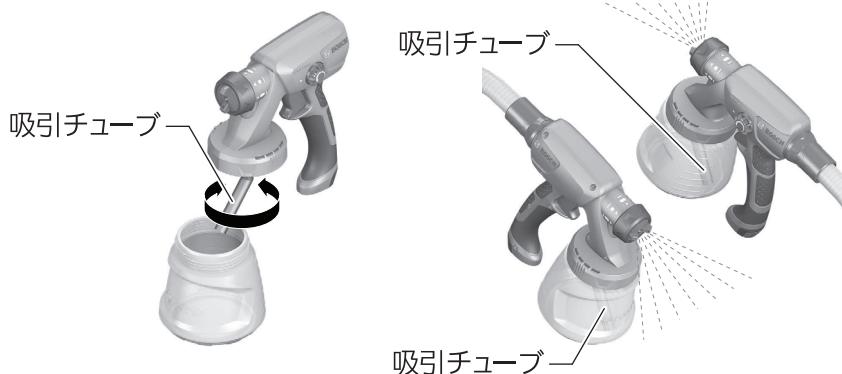
1. スプレーガン(1)にエアホース(8)が取り付けられていないことを確認します。
取り付けられているときは、取り外してください。
(27ページ「エアホースを取り付ける・取り外す」の“取り外す”参照)

2. スプレーガン(1)からタンク(7)を取り外します。
タンク(7)は回すと外れます。

3. タンク(7)に塗料を充てんします。

- ☞ 800のマークを超えないように注意して入れてください。

4. 吸引チューブの向きを、塗料がほとんど残らないでスプレーできるように調節します。
水平面または上に向かってスプレーする場合は、吸引チューブの先端をグリップ側に向けます。
下に向かってスプレーする場合は、吸引チューブの先端をエアキャップ側に向けます。



5. スプレーガン(1)にタンク(7)を取り付けます。
タンク(7)は回すと、固定されます。

- ☞ 確実に固定されていることを確認してください。

● エアホースを取り付ける・取り外す



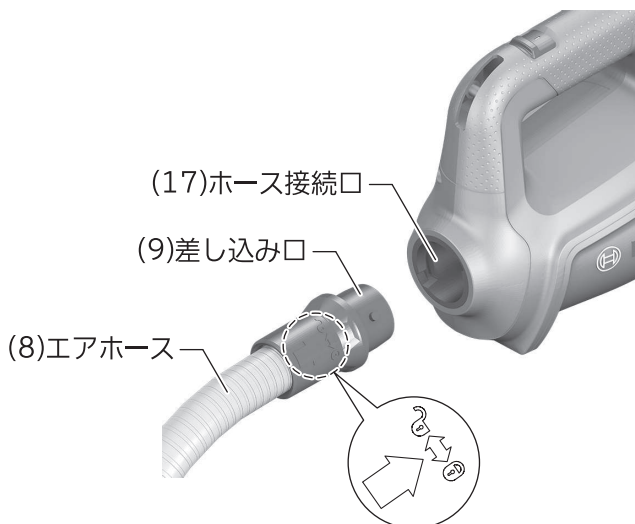
- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、エアホース(8)を取り付けたり取り外したりするときは、必ずベースユニット(10)からバッテリー(15)を取り外してください。

取り付け

1. エアホース(8)の差し込み口(9)の一方を、ベースユニット(10)のホース接続口(17)に取り付けます。

- 1) 差し込み口(9)の突起をホース接続口(17)の溝に合わせて差し込み、締まる(⑩)の方向に回す。

 差し込み口(9)は止まるまで回して、確実に取り付けてください。

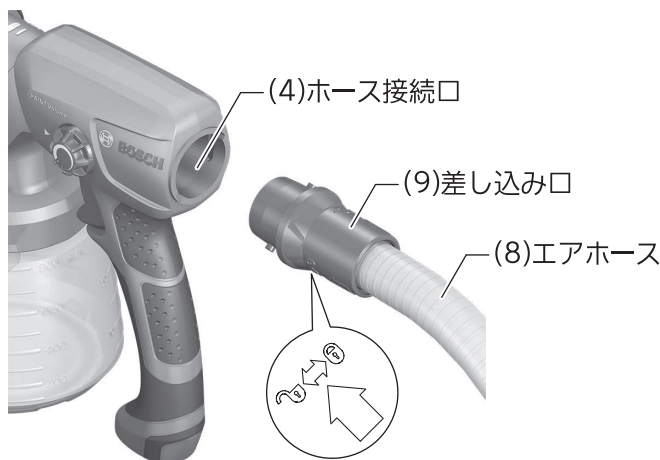


- 2) 差し込み口(9)を軽く引いて、抜けないことを確認する。

2. エアホース(8)の差し込み口(9)のもう一方を、スプレーガン(1)のホース接続口(4)に取り付けます。

1) 差し込み口(9)の突起をホース接続口(4)の溝に合わせて差し込み、締まる(⑩)の方向に回す。

 差し込み口(9)は止まるまで回して、確実に取り付けてください。



2) 差し込み口(9)を軽く引いて、抜けないことを確認する。

取り外し

 エアホース(8)内に塗料が残っていることがあります。

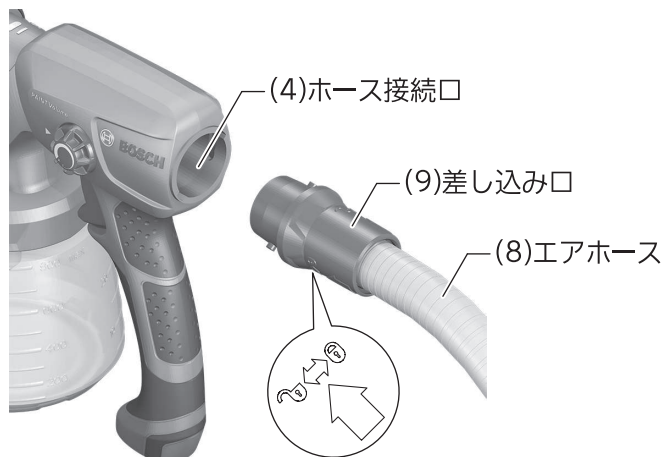
エアホース(8)を取り外すときは、エアホース(8)内に残った塗料が自分や周りの人、動物、物などに掛からないよう注意してください。

1. ベースユニット(10)の「電源スイッチ(11)」が“切”になっていることを確認します。

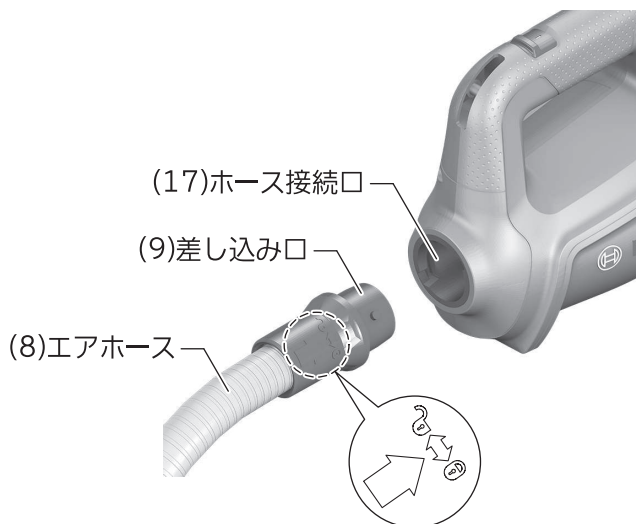
“入”になっているときは、“切”にしてください。

2. スプレーガン(1)のメインスイッチ(6)を引き込んで、エアホース内の圧力と塗料を抜きます

3. スプレーガン(1)からエアホース(8)を取り外します。
エアホース(8)の差し込み口(9)を緩む(🔩)の方向に止まるまで回し、ホース
接続口(4)から引き抜きます。



4. ベースユニット(10)からエアホース(8)を取り外します。
エアホース(8)の差し込み口(9)を緩む(🔩)の方向に止まるまで回し、ホース
接続口(17)から引き抜きます。



作業する



警告

- ◆ 水域(湖や川など)の周囲、または集水域に隣接する区域でのスプレー作業は許可されていません。作業しないでください。
- ◆ 塗料や溶剤を購入する際は、環境への適合性に注意してください。



注意

- ◆ 塗料メーカーの技術情報シートなどに記載されている、噴霧性に関する仕様に注意してください。メーカーがこの目的に適さないと指定した塗料をスプレーしないでください。
- ◆ スプレーガン(1)の個々の部品、特に塗料が付着している全ての部品は、使用後すぐにしっかり掃除してください。スプレーガンを正しく安全に操作するには、適切な掃除が不可欠です。掃除がまったく行われていない、または適切に行われていない場合、保証の対象外となります。
(39ページ「スプレーガンを掃除する」参照)

使用方

- ☞ スプレーガン(1)に、付属のノズルキャップが取り付けられていることを確認してください。取り付けられていることで、スプレーガンシステムの機能と安全性が保証されます。
- ☞ スプレーパターン(32ページ参照)と噴出量が最適か、試し作業を行って確認してください。
試し作業は、スプレーする対象物と同じ塗料で行ってください。
- ☞ 室温の塗料を使用すると、より良いスプレーパターンが得られます。
- ☞ 古い壁紙を剥がすときは、壁紙にぬるま湯(最大55℃)をスプレーすると、剥がしやすくなります。

電子セル保護システム(ECP機能)

本機には、電子セル保護システム(ECP機能)がついております。

電動機械本体が過負荷になった場合やバッテリーが過放電または使用温度範囲外になった場合、バッテリー保護のために電動機械本体が自動的に停止します。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。

電動機械本体が停止している状態で「電源スイッチ(11)」を“入”にし続けると、故障の原因になります。電動機械が突然停止したときは、作業を一時中断してください。

① 作業場の準備をする

- 1) スプレーする対象物の表面が清潔で乾燥していて、グリースなどが付着していないことを確認します。
- 2) スプレーする区域周辺の養生をします。
 スプレーする際、覆われていない全ての表面がスプレーミストによって汚染される可能性があります。スプレーする対象物の周辺(床、調度品、ドア、窓、ドアの窓枠など)を慎重に覆ってください。
- 3) カバー材などにスプレーするときは、しっかり固定します。
 しっかり固定されていないカバー材は、強力なエアジェットにより剥がれたり、吹き飛んだりする可能性があります。
- 4) スプレーする区域に電源プラグやスイッチがあるときは、電源プラグやスイッチを慎重に覆い隠します。

**警告**

◆ 電源プラグやスイッチが覆われていないと、短絡する可能性があります。

- 5) スプレーする対象物の表面が滑らかな場合は、表面を粗くします。

 粗くする際に出た粉じんは、きれいに取り除いてください。

② スプレーガンシステムの取り付けを確認する

スプレーガン(1)、エアホース(8)、ベースユニット(10)が確実に取り付けられていることを確認します。確実に取り付けられていることで、スプレーガンシステムの機能と安全性が保証されます。

③ ベースユニット(10)に、バッテリー(15)を取り付ける

バッテリー(15)を、ベースユニット(10)のバッテリー差し込み口に“カチツ”と音がするまで押し込みます。

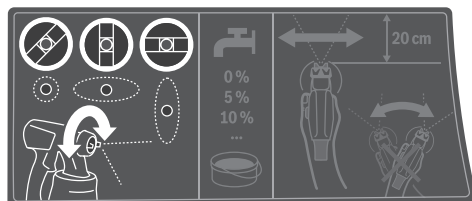
**警告**

◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

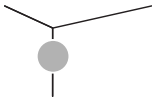
④ スプレーパターンを選択する

エアキャップ(2)を回して、スプレーパターンを選択します。

- ☞ エアキャップ(2)でスプレーパターンを選択している間は、「メインスイッチ(6)」を引き込まないでください。



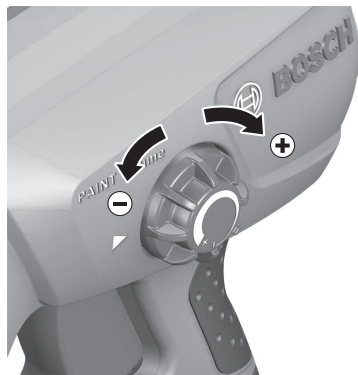
使
い
方

エアキャップ(2)の向き	スプレーパターン
 	垂直作業方向の水平フラットジェット 
 	水平作業方向の垂直フラットジェット 
 	コーナー、エッジ、届きにくい場所用の ラウンドジェット 

5 噴出量を調節する

噴出量調節ダイヤル(5)を回して、噴出量を調節します。

噴出量調節ダイヤル(5)を時計方向“+側”に回すと噴出量が多くなり、反時計方向“-側”に回すと噴出量が少なくなります。



使
い
方

最初は、最小量でスプレーを開始し、希望するスプレーパターン(噴出量)が得られるまで徐々に量を増やします。

☞ 表面に吹き付けられる塗料の量は、表面上を移動させる速さに大きく依存します。

6 試し作業する

実際の表面をスプレーする前にテスト面で試し作業し、スプレーパターンや噴出量が最適であるか確認します。

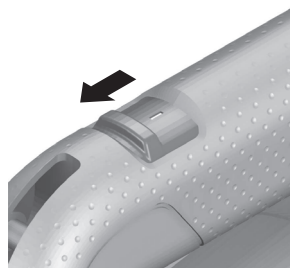
スプレーパターンが不十分であるか、塗料が噴出されない場合は、「故障かな?と思ったら」(46ページ)を参照して、対処してください。

1. スプレーガン(1)のハンドルを持ち、エアキャップ(2)をテスト面に向けます。

☞ 「メインスイッチ(6)」は引き込まないでください。

2. ベースユニット(10)の「電源スイッチ(11)」をホース接続口(17)側にスライドさせて、電源を“入”にします。

☞ 電源を“入”にすると、常にエアキャップ(2)から空気が流れ出します。



3. スプレーガン(1)の「メインスイッチ(6)」を引き込み、テスト面にスプレーします。

4. 試し作業が終わったら、スプレーガン(1)の「メインスイッチ(6)」から指を離します。

5. スプレーパターンや噴出量が最適である場合は、作業を開始します。

☞ 表面に吹き付けられる塗料の量は、表面上を移動させる速さに大きく依存します。

☞ 希望するスプレーパターンが得られない場合は、塗料を5%ずつ希釈します。

(25ページ「スプレーする塗料を準備する」参照)

状 態	対 処	
表面に吹き付けられた塗料が多すぎる	塗料の噴出量を減らす必要があります。 噴出量調節ダイヤル(5)矢印の方向に回してください。	
表面に吹き付けられた塗料が足りない	塗料の噴出量を増やす必要があります。 噴出量調節ダイヤル(5)矢印の方向に回してください。	

7 作業する



警告

◆ 移動しながら作業するときは、つまづきや進行方向の障害物に注意してください。

◆ スプレーガン(1)のエアキャップ(2)を自分や他人、動物に向けてください。



注意

◆ 作業中に、ノズル以外の場所から塗料が漏れた場合は、作業を中止し、スプレーガンシステムが正しく組み付けられているか確認してください。そのまま使用すると、感電の恐れがあります。

◆ 屋外で使用する場合は、風向きに注意してください。

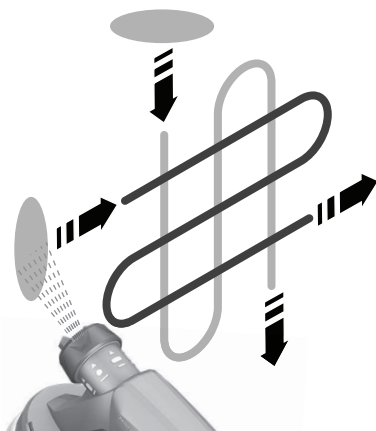
◆ 安全で効率的な操作を確保するため、スプレーガン(1)本体、ベースユニット(10)本体、通気口は常に清潔に保ってください。

◆ ベースユニット(10)には、絶対スプレーしないでください。

☞ 作業中に、ベースユニット(10)がほこりやその他の汚染物を吸い込まないように注意してください。

☞ 作業中、タンク(7)を完全に空にしないでください。吸引チューブが塗料に浸されていないと、噴射が中断され、表面が不均一になります。

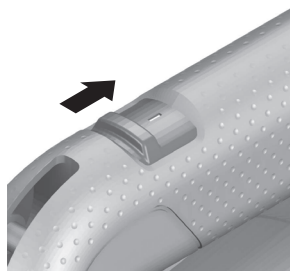
1. 作業する表面から外れた場所にエアキャップ(2)を向け、「メインスイッチ(6)」を引き込みます。
2. 作業する表面にエアキャップ(2)を向け、作業を始めます。
 - ☞ スプレーガン(1)は、スプレーする表面に対して垂直に保持し、表面から15～20cmの一定の距離を保ってください。
 - ☞ スプレーガン(1)を着実に前進させることで、均一な表面品質が得られます。スプレーする角度や表面からの距離が均一でないと、多くの塗料ミストが形成され、結果として表面がでこぼこになります。
 - ☞ スプレーパターンの構成に応じて、スプレーガン(1)を水平または垂直に均等に動かします。
スプレー経路が4～5cm重なり合うと、表面を均一にすることができます。



- ☞ 高所または水平な表面にスプレーする場合、スプレーガン(1)をわずかに傾け、表面から離れてください。
 - ☞ スプレーする表面内での中断を避けてください。
3. 作業が終わったら、表面から外れた場所にエアキャップ(2)を向け、「メインスイッチ(6)」から指を離します。

8 電源を“切”にする

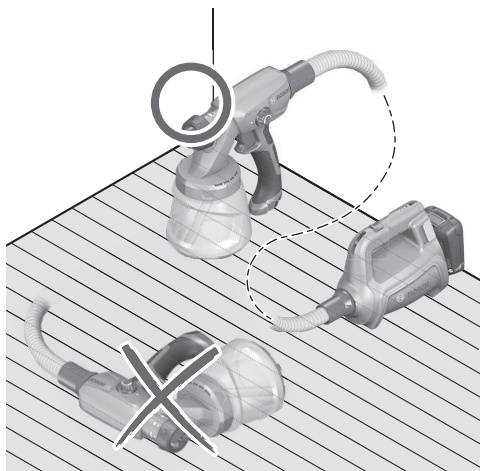
作業が終わったら、ベースユニット(10)の「電源スイッチ(11)」をバッテリー(15)側にスライドさせて、電源を“切”にします。



9 ベースユニット(10)からバッテリー(15)を取り外す

使 い 方

- ☞ 塗料がエアキャップ(2)やノズルキャップに付着した場合は、適切なブラシまたは湿った布で掃除してください。
- ☞ 休憩などでスプレーガン(1)を置くときは、平らな面に立てて置いてください。横になっていると、スプレーガン(1)から塗料が漏れる可能性があります。



- ☞ 休憩のあとやタンク(7)に塗料を充てんしたあとは、ノズルキャップとエアキャップ(2)を点検し、必要に応じて掃除してください。

バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間(6か月以上) 使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は使用を中止し、充電してください。

リサイクルのために

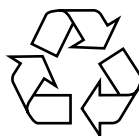
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ボッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動機械用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

つ
い
バ
ッ
テ
リ
ー
に

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス電動機械本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

お手入れと保管



- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー(15)を電動機械本体から取り外し、お手入れしてください。

クリーニング

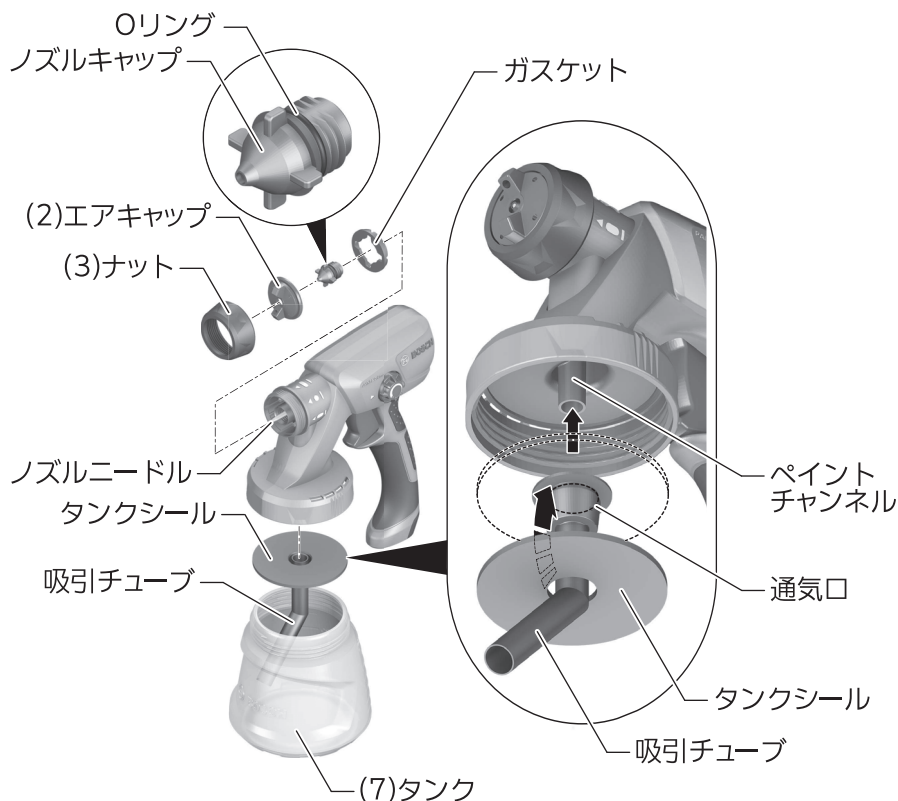
- バッテリー取り外しボタン(14)やバッテリー差し込み部に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

- 乾いた、柔らかい布でベースユニット(10)の汚れをふき取る

- ☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。
- ☞ ベースユニット(10)に塗料が付着しているときは、シンナーで湿らせた布でふき取ってください。シンナーは、ベースユニット(10)本体を傷める恐れがありますので、使用は最低限にしてください。



● スプレーガンを掃除する



保
お
手
入
れ
と
管

水性塗料を使用した後の掃除

- ☞ スプレーガン(1)とタンク(7)は、必ず温水で洗浄してください。
- ☞ スプレーガン(1)のノズルニードルと通気口を、先のとがったもので掃除しないでください。

1. ベースユニット(10)の「電源スイッチ(11)」を「切」にします。
2. エアホース(8)をスプレーガン(1)から取り外します。
3. ベースユニット(10)とエアホース(8)を作業する区域から離れた所に置きます。
 - ☞ ベースユニット(10)とエアホース(8)を、掃除作業する近くに置いたままにすると、汚れる恐れがあります。
4. タンク(7)をスプレーガン(1)から取り外します。

5. 吸引チューブの先端が、タンク(7)の中に入るようにしてタンク(7)を持ちます。
6. 「メインスイッチ(6)」を引いて、吸引チューブの中に残っている塗料をタンク(7)に戻します。
7. タンク(7)の中の塗料を捨てて、空にします。

☞ 他の用途のために塗料を保管したい場合は、ふた付きのスペアタンク(別売品)のふたを利用して、タンク(7)のまま保管することができます。



8. タンク(7)の中の塗料を捨てた場合は、タンク(7)を温水で洗浄します。
9. 吸引チューブをタンクシールを組み付けたまま取り外し、よくすすぎます。
10. 吸引チューブをタンクシールを組み付けたまま、スプレーガン(1)に取り付けます。
11. 洗浄されたタンク(7)に温水を入れ、スプレーガン(1)に取り付けます。
12. エアホース(8)をスプレーガン(1)に取り付けます。
(27ページ「エアホースを取り付ける・取り外す」参照)
☞ エアホース(8)の一方にベースユニットが取り付けられていない場合は、取り付けてください。
13. ベースユニット(10)にバッテリー(15)を取り付け、電源を“入”にします。
14. 「メインスイッチ(6)」を引いて、透明な水だけが噴出されるまでスプレーします。
☞ タンク(7)に入れた温水を使い切っても透明な水だけにならない場合は、再度タンク(7)に温水を入れて、スプレーしてください。
15. 電源を“切”にし、ベースユニット(10)からバッテリー(15)を取り外します。
16. ベースユニット(10)とスプレーガン(1)の両方からエアホース(8)を取り外します。
17. スプレーガン(1)から、ナット(3)、エアキャップ(2)、ノズルキャップ、ガスケットを取り外します。

18. ノズルキャップにOリングが取り付けられていることを確認します。
19. スプレーガン(1)から、吸引チューブ(12)をタンクシールを組み付けたまま取り外します。
20. バケツなどにぬるま湯を入れ、洗浄ブラシ(市販品)を使用して下記の部品を洗浄します。
 - ・ナット ・エアキャップ ・ノズルキャップ*7 ・ガスケット
 - ・吸引チューブ ・ペイントチャンネル

*7 ノズルキャップは標準付属品のノズルキャップ洗浄ブラシを使用して洗浄してください。
21. 吸引チューブ(12)とタンク(7)に損傷がなく、塗料が残っていないことを確認します。
22. 適切なクリーニングブラシを使用して、吸引チューブの通気口を掃除します。
23. タンク(7)の外側とスプレーガン(1)を、湿らせた布で拭きます。
24. すべての部品を完全に乾かします。
25. 吸引チューブにタンクシールが正しく組み付けられているか確認します。タンクシールが外れてしまった場合は、吸引チューブの溝にタンクシールを差し込んで組み付けてください。
 タンク(7)を完全に密閉するために、タンクシールが吸引チューブの溝全体に正確に配置されていることを確認してください。
26. スプレーガン(1)のペイントチャンネルに吸引チューブ(12)を取り付けます。
27. スプレーガン(1)にナット(3)、エアキャップ(2)、ノズルキャップ、ガスケットを取り付けます。
28. スプレーガン(1)にタンク(7)を取り付けます。

溶剤を混ぜた塗料を使用した後の掃除



注意

◆ 溶剤を混ぜた塗料を使用した後の掃除を行うときは、適切な手袋を着用してください。

- ☞ スプレーガン(1)とタンク(7)は、使用した塗料を希釈した希釈材で洗浄してください。
- ☞ スプレーガン(1)のノズルニードルと通気口を、先のとがったもので掃除しないでください。

1. ベースユニット(10)の「電源スイッチ(11)」を“切”にします。
2. エアホース(8)をスプレーガン(1)から取り外します。
3. ベースユニット(10)とエアホース(8)を作業する区域から離れた所に置きます。
 - ☞ ベースユニット(10)とエアホース(8)を、掃除作業する近くに置いたままにすると、汚れる恐れがあります。
4. タンク(7)をスプレーガン(1)から取り外します。
5. 吸引チューブの先端が、タンク(7)の中に入るようにしてタンク(7)を持ちます。
6. 「メインスイッチ(6)」を引いて、吸引チューブの中に残っている塗料をタンク(7)に戻します。
7. タンク(7)の中の塗料を捨てて、空にします。
 - ☞ 他の用途のために塗料を保管したい場合は、ふた付きのスペアタンク(別売品)のふたを利用して、タンク(7)のまま保管することができます。



8. 吸引チューブをタンクシールを組み付けたまま取り外し、よくすすぎます。
9. 吸引チューブをタンクシールを組み付けたまま、スプレーガン(1)に取り付けます。
10. 空のタンク(7)に半分まで溶剤を入れ、スプレーガン(1)に取り付けます。

11. スプレーガン(1)を数回振り、タンク(7)内に付いた塗料を落とします。



危険

◆ 絶対に溶剤をスプレーしないでください。溶剤をスプレーすると爆発する恐れがあります。

12. スプレーガン(1)から、タンク(7)を取り外します。

13. タンク(7)内の溶剤を密閉可能な塗料缶などに捨てます。

14. スプレーガン(1)から、ナット(3)、エアキャップ(2)、ノズルキャップ、ガスケットを取り外します。

15. ノズルキャップにOリングが取り付けられていることを確認します。

16. スプレーガン(1)から、吸引チューブ(12)をタンクシールを組み付けたまま取り外します。

17. バケツなどにシンナーを入れ、洗浄ブラシ(市販品)を使用して下記の部品を洗浄します。

・ナット ・エアキャップ ・ノズルキャップ*7 ・ガスケット
・吸引チューブ ・ペイントチャンネル

 必要に応じてタンクシールもシンナーで洗浄してください。

*7 ノズルキャップは標準付属品のノズルキャップ洗浄ブラシを使用して洗浄してください。

18. 吸引チューブ(12)とタンク(7)に損傷がなく、塗料が残っていないことを確認します。

19. 適切なクリーニングブラシを使用して、吸引チューブの通気口を掃除します。

20. タンク(7)の外側とスプレーガン(1)を、湿らせた布で拭きます。

21. すべての部品を完全に乾かします。

22. 吸引チューブにタンクシールが正しく組み付けられているか確認します。タンクシールが外れてしまった場合は、吸引チューブの溝にタンクシールを差し込んで組み付けてください。

 タンク(7)を完全に密閉するために、タンクシールが吸引チューブの溝全体に正確に配置されていることを確認してください。

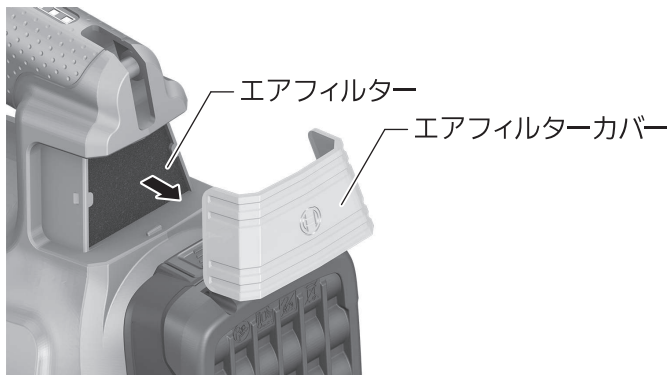
23. スプレーガン(1)のペイントチャンネルに吸引チューブ(12)を取り付けます。

保
お
手
入
れ
と
管

24. スプレーガン(1)にナット(3)、エアキャップ(2)、ノズルキャップ、ガasketを取り付けます。

25. スプレーガン(1)にタンク(7)を取り付けます。

● エアフィルターを掃除する



エアフィルターは時々掃除する必要があります。
汚れがひどい場合は、エアフィルターを交換してください。

1. ベースユニット(10)から、エアフィルターカバーを取り外します。
2. エアフィルターを取り外します。
3. エアフィルターを掃除します。
あまり汚れていない場合は、エアフィルターをたたいて汚れを落とします。
汚れがひどい場合は、エアフィルターを流水で洗浄し、カビが発生しないように十分乾燥させます。
流水で洗浄しても汚れが落ちない場合は、エアフィルターを交換してください。
4. ベースユニット(10)に、エアフィルターを取り付けます。



注意

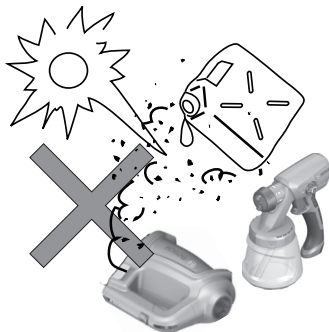
◆ エアフィルターなしで、スプレーガンシステムを使用しないでください。汚れの粒子がベースユニット(10)のモーター部に入り、ベースユニット(10)が損傷する恐れがあります。

5. ベースユニット(10)に、エアフィルターカバーを取り付けます。

保 管

● 使った後は、バッテリー(15)を取り外し、きちんと保管する

- 保管する前に、スプレーガンシステムを十分に洗淨し、すべての部品を完全に乾かす。
- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、50℃以上になるところに置かない。
- バッテリーは、-20℃～+50℃の範囲で保管する。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼る。



電動機械(本体)の廃棄について

バッテリー以外の電動機械本体および付属品(充電器など)の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

保
管
お
手
入
れ
と

塗料の廃棄について

汚染された希釈剤、塗料の残り、希釈剤の残りは、適切かつ環境に優しい方法で廃棄する必要があります。

有害廃棄物の廃棄に関する製造業者の廃棄情報および地域の規制に従ってください。

環境に有害な化学物質は、土壌、地下水または水域、下水道に流さないでください。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直してください。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
塗料が適切に噴出されない	噴出量が少なすぎる	噴出量調節ダイヤル(5)を調節して噴出量を増やす
	スプレーする表面までの距離が遠すぎる	スプレーする表面までの距離を短くする
	スプレーする表面にスプレーする経路が少なすぎる	スプレーする経路を増やす
	塗料の粘性が高すぎる	塗料を再度希釈し、テストスプレーする
スプレー後に塗料が流れる	塗料の塗布量が多すぎる	噴出量調節ダイヤル(5)を調節して噴出量を減らす
	スプレーする表面までの距離が近すぎる	スプレーする表面までの距離を離す
	塗料の粘度が低すぎる	塗料を追加し、テストスプレーして確認する
	塗料を同じ場所にスプレーし過ぎている	同じ表面へのスプレーする経路を減らす
スプレーの細かさが足りない	噴出能力が高すぎる	噴出量調節ダイヤル(5)を“－”方向に回す
	ノズルニードルが汚れている	ノズルニードルを掃除する
	塗料の粘性が高すぎる	塗料を再度希釈し、テストスプレーして確認する
	エアフィルターの汚れがひどい	エアフィルターを交換する

症 状	原 因	対 処
スプレーされる範囲が広すぎる	塗料の塗布量が多すぎる	噴出量調節ダイヤル(5)を調節して噴出量を減らす
	スプレーする表面までの距離が遠すぎる	スプレーする表面までの距離を短くする
スプレージェットの脈動	タンク(7)に十分な塗料が充てんされていない	塗料を補充する
	吸引チューブの通気口が目詰まりしている	吸引チューブと通気口を掃除する
	吸引チューブが緩んでいる	吸引チューブをペイントチャンネルにしっかり取り付ける
	ノズルキャップが緩んでいる	ノズルキャップを締める
	エアフィルターの汚れがひどい	エアフィルターを掃除するか交換する
	塗料の粘性が高すぎる	塗料を再度希釈し、テストスプレーして確認する
ノズルキャップに塗料が滴り落ちる	ノズルキャップ、ノズルニードル、エアキャップ(2)に塗料が付着している	ノズルキャップ、ノズルニードル、エアキャップを洗浄する
	ノズルキャップが緩んでいる	ノズルキャップを締める

症 状	原 因	対 処
ノズルキャップから塗料が出ない	吸引チューブが緩んでいる	吸引チューブをペイントチャンネルにしっかり取り付ける
	ノズルニードルが目詰まりしている	ノズルニードルを掃除する
	吸引チューブが目詰まりしている	吸引チューブを掃除する
	吸引チューブの通気口が目詰まりしている	吸引チューブと通気口を掃除する
	タンクシールが取り付けられていないか損傷している	新しいタンクシールを吸引チューブの溝に取り付ける
	塗料の粘性が高すぎる	塗料を再度希釈し、テストスプレーして確認する
	塗料が汚れている (塗料に塊がある)	タンク(7)を空にし、スプレーガンを洗浄する 塗料充てん時に充てんふるいを通して塗料を注ぐ

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161をご利用ください。
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4

TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

困ったときは